

面接フォーム

面接 DATA	
面接年月日	年 月 日 ()
調査対象者	
面接場所	
面接時間	～
性別	女性 ・ 男性
年齢	歳
勤務施設	
職種	看護師 ・ 助産師 ・ 保健師 ・ 保育士 ・ CLS
勤務年数	年 ヶ月
小児病棟の勤務年数	年 ヶ月
その他の勤務経験	無 ・ 有 ()
結婚歴	独身 ・ 既婚 子ども 無 ・ 有 (人)
氏名	連絡先

看護系大学・短期大学・専門学校
施設代表者 様

平成 25 年 7 月

研究協力をお願い (依頼書)

私は、神奈川大学大学院人間科学研究科博士後期課程に在籍する大学院生です。普段は神奈川県横浜創英大学に勤務しております。今回は、「医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究」を進めるにあたり、ご協力をお願いをさせていただきますと幸甚です。

ご協力をいただける場合は、同封の葉書におおよその人数をご記入いただき、ご返送いただきますようお願いいたします。

後日、人数分の調査票を郵送させていただきます。

ご多用のところ誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

【研究目的】

小児医療の現場では、幼児に対して頻繁に用いることばにオノマトペがあります。オノマトペとは、実際に存在する音に真似てことばとする擬音語や、視覚・触覚など聴覚以外の感覚印象をことばとする擬態語のことを指します。注射や採血は「チクン」、血圧測定は「シュポシュポ」などがその例となります。オノマトペは、言語能力が未熟な幼児にとって、感性的に理解できることばといえます。しかし、この感性的言語の使用実態はまだよくわかっておりません。

そこで、今回、小児病棟に勤務する看護師以外で、オノマトペに代表される感性的言語の出現がみられるのか、小児看護学実習前後の看護学生を対象に調査を実施することにしました。

本調査の目的は、幼児への具体的なことばモデル開発の基礎的資料を得ることにあります。

幼児が理解できる感性的言語の説明モデルが開発されれば、医療現場において幼児への説明が容易となり、幼児自身が安心して医療を受けることに役立つものと期待されます。

【調査対象】

本調査の対象は、看護系大学、短期大学、専門学校における学生です。

以下に該当し、ご協力いただける学生を 500 名程度募っております。

- 小児看護学実習の履修年度の看護学生

【調査期間】

平成 25 年 7 月～平成 27 年 3 月

【調査方法】

- ・ 自記式の質問紙調査を行い、郵送にて回収させていただきます。
- ・ 小児看護学実習の前後で、各 1 回調査票に回答していただきます。
- ・ 各調査票の回答に要する時間は 20 分程度です。
- ・ 調査票の回収をもって本調査への同意が得られたこととさせていただきます。

裏面

【調査協力者への倫理的配慮について】

本調査の公開は、国内外の保健医療・看護・心理系の学会で行わせていただきます。

調査で得られた結果は、研究目的以外には使用しません。回答していただいた調査票は、データ入力時に新たに符号または番号を付けて匿名化し、対応表を作成しません。なお、調査票は、厳重に保管し、研究終了時にシュレッダー処理を行います。

本調査にご協力いただける場合は、同封の葉書にご記入後、 月 日頃までにご投函くださいますようお願いいたします。

ご多忙のところ誠に恐縮ですが、よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

尚、本研究に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

また、本調査結果をご希望の方は下記メール（mishidate@soei.ac.jp）に連絡をいただければ後日お送りいたします。

研究代表者所属： 横浜創英大学 看護学部 看護学科
神奈川大学大学院 人間科学研究科 人間科学専攻
臨床心理学研究領域 博士後期課程
氏名・職階： 石舘 美弥子 講師
連絡先： 横浜市緑区三保町1番地横浜創英大学看護学部
電話： 045-922-6289（直通）
e-mail： XXXXXXXXXX

調査研究へのご協力をお願い

平成 25 年 7 月

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今回は「医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究」を進めるにあたり、ご協力をお願いをさせていただきますと幸甚です。

【研究目的】

小児医療の現場では、幼児に対して頻繁に用いることばにオノマトペがあります。オノマトペとは、実際に存在する音に真似てことばとする擬音語や、視覚・触覚など聴覚以外の感覚印象をことばとする擬態語のことを指します。注射や採血は「チクケン」、血圧測定は「シュポシュポ」などがその例となります。オノマトペは、言語能力が未熟な幼児にとって、感性的に理解できることばといえます。しかし、この感性的言語の使用実態はまだよくわかっておりません。そこで、小児病棟に勤務する看護師以外で、オノマトペに代表される感性的言語の出現がみられるのか、小児看護学実習前後の看護学生を対象に調査を実施することにしました。

本調査の目的は、看護学生が幼児に使用することばの実態を把握することにあります。

【研究の意義】

看護学生が幼児に使用しているオノマトペの実態を把握することで、感性的言語を活用したことばモデル開発の基礎的資料となります。

【研究方法】

- ・ 小児看護学実習前後の各 1 回 質問紙調査を行い、郵送にて回収させていただきます。
- ・ 各調査票の回答に要する時間は 20 分程度です。
- ・ 回答欄は空白のないように 記入の方お願いいたします。
- ・ 調査票の回収をもって本調査への同意が得られたこととさせていただきます。

【倫理的配慮】

本調査の公開は、国内外の保健医療・看護・心理系の学会で行わせていただきます。調査で得られた結果は、研究目的以外には使用しません。

回答いただいた調査票は厳重に保管し、研究終了時にシュレッダー処理を行います。

本調査にご協力いただける場合は、同封の返信用封筒に密封の上、ご自身で投函していただきますようお願いいたします。

※ 小児実習終了後、質問紙 2 部 (実習前・後) を同封し、投函の方お願いいたします。

敬具

なお、本研究に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】

石舘 美弥子

横浜創英大学 看護学部 看護学科

住所：〒226 - 0015 神奈川県横浜市緑区三保町 1 番地

電話： 045-922-6289 (直通)

e-mail： XXXXXXXXXX

研究への参加についての承諾書

私は、研究計画名「医療処置を受ける幼児の対処能力を高める感性的言語の研究」に関する調査研究において、その目的と方法について十分な説明を受けました。また、本調査に協力することを承諾しなくても、私および協力を依頼された対象者である学生がなんら不利益を受けないことも確認したうえで、対象者である学生に対し依頼がなされることを承諾します。

平成 年 月 日

承諾者（所属・代表者名） _____ 印

「医療処置を受ける幼児の対処能力を高める感性的言語の研究」に関する調査研究について、説明を行い、上記のとおり承諾が得られたことを確認します。

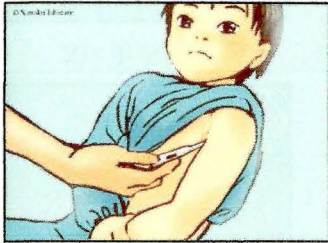
説明日： 年 月 日

説明者（所属・氏名） _____ 印

◎ これから、あなたは入院中の幼児(2~5歳)に、各医療処置を実施します。
左記のイラストを見て、あなたが幼児に説明する言葉かけを書いてください。

1. バイタルサイン測定

1) 体温測定



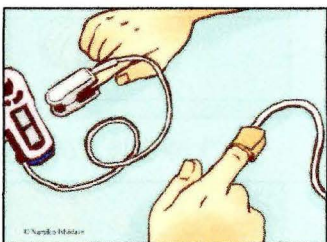
Blank rounded rectangular box for writing instructions for temperature measurement.

2) 脈拍測定(呼吸音聴取)



Blank rounded rectangular box for writing instructions for pulse or breathing sound measurement.

3) 酸素飽和度測定



Blank rounded rectangular box for writing instructions for oxygen saturation measurement.

4) 血圧測定

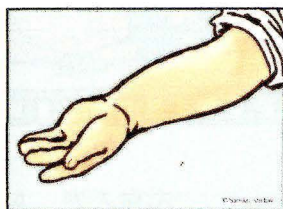


Blank rounded rectangular box for writing instructions for blood pressure measurement.

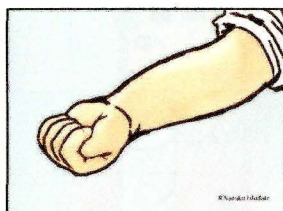
2. 採血



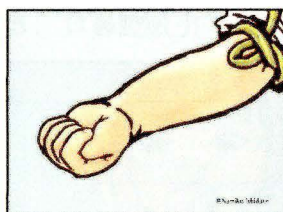
1) 手（腕）を伸ばす



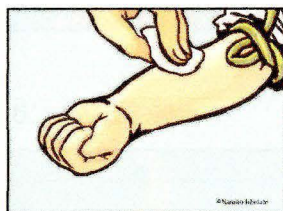
2) 手を握る



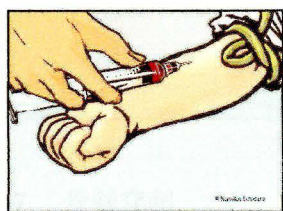
3) 駆血帯を巻く



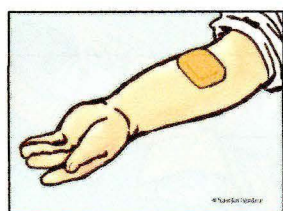
4) アルコール綿で拭く（消毒する）



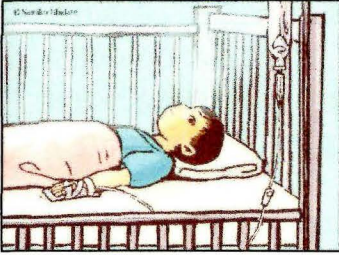
5) 針を刺す



6) 絆創膏を貼る



3. 点滴



A large, empty rounded rectangular box for notes.

4. 吸入療法



A large, empty rounded rectangular box for notes.

5. 口鼻腔吸引



A large, empty rounded rectangular box for notes.

6. 腰椎穿刺



A large, empty rounded rectangular box for notes.

7. 骨髄穿刺



A large, empty rounded rectangular box for notes.

ご協力ありがとうございました。

◎ これから、あなたは入院中の幼児（2～5歳）に、各医療処置を実施します。

左記のイラストを見て、あなたが幼児に説明する言葉かけを経験の有無に限らず書いてください。該当する選択肢には○をつけ、空欄には数値および記述をお願いします。見学・実施の枠の中には、実習中経験した回数を記入してください。経験しなかった場合は×と記してください。

2. バイタルサイン測定
1) 体温測定

【受持ち小児 1】

1. 男 2. 女
年齢 () 歳 () ケ月
疾患 ()

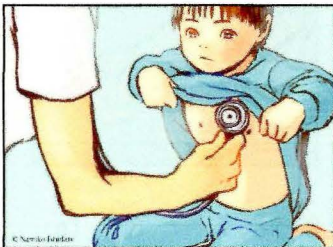
【受持ち小児 2】

1. 男 2. 女
年齢 () 歳 () ケ月
疾患 ()



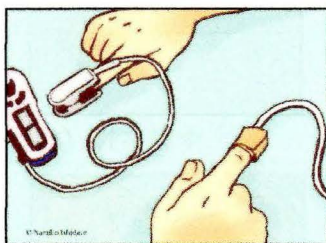
見学	実施

2) 脈拍測定（呼吸音聴取）



見学	実施

3) 酸素飽和度測定



見学	実施

4) 血圧測定



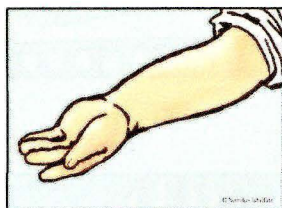
見学	実施

採血

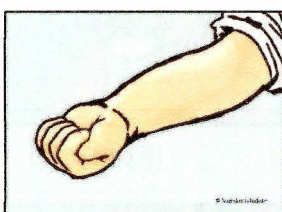
見学	実施



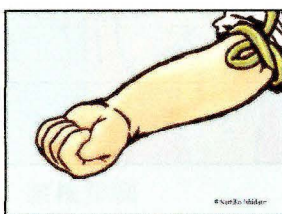
1) 手（腕）を伸ばす



2) 手を握る



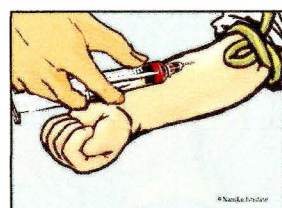
3) 駆血帯を巻く



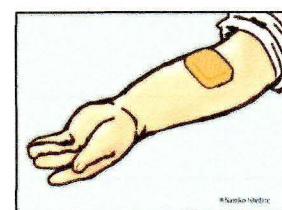
4) アルコール綿で拭く（消毒する）



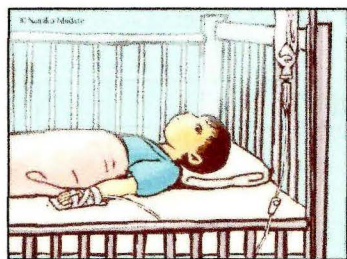
5) 針を刺す



6) 絆創膏を貼る



3. 点滴



見学	実施

4. 吸入療法



見学	実施

5. 口鼻腔吸引



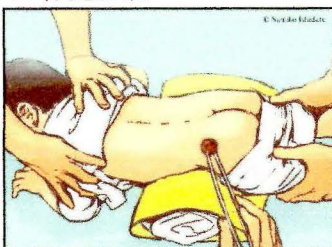
見学	実施

6. 腰椎穿刺



見学	実施

7. 骨髓穿刺



見学	実施

◎ あなたご自身について、お尋ねします。

	質問内容	回答欄
1	何人兄弟	1) ひとりっ子 2) 2人 3) 3人 4) 4人以上
2	ご自身は	1) 長女 (長男) 2) 次女 (次男) 3) 三女 (三男) 4) その他 ()
3	子どもが好き	1) はい 2) いいえ 3) わからない
4	小児科へ就職希望	1) はい 2) いいえ 3) わからない 4) その他 ()
5	教育課程	1) 専修学校 (3年課程) 2) 専修学校 (2年課程) 3) 短期大学 4) 大学 5) その他 ()

ご協力ありがとうございました。

総合病院・小児専門病院・医院
施設長 様

平成 25 年 10 月

研究協力のお願い (依頼書)

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今回は「医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究」にあたり、ご協力のお願いをさせていただきますと幸甚です。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、何卒よろしくお願い申し上げます。

敬具

【研究目的】

小児医療の現場では、幼児に対して頻繁に用いることばにオノマトペがあります。オノマトペとは、実際に存在する音に真似てことばとする擬音語や、視覚・触覚など聴覚以外の感覚印象をことばとする擬態語のことを指します。注射や採血は「チクン」、吸入療法は「モクモク」などがその例となります。オノマトペは、言語能力が未熟な幼児にとって感性的に理解できることばといえます。しかし、この感性的言語の使用実態はまだよくわかっておりません。

そこで、今回、小児科に勤務する看護師、医師を対象に調査を実施することにいたしました。

本調査の目的は、幼児への具体的なことばモデル開発の基礎的資料を得ることにあります。

幼児が理解できる感性的言語の説明モデルが開発されれば、医療現場において幼児への説明が容易となり、幼児自身が安心して医療を受けることに役立つものと期待されます。

【調査対象】

本調査の対象は、全国の病院・医院に勤務されている看護師および医師 500 名程度です。

無作為選択しました各施設にてご協力いただける方を 10 名程度 (看護師 8 名, 医師 2 名) 募っております。

【調査期間】

平成 25 年 10 月～平成 26 年 3 月

【調査方法】

- ・ 無記名自記式の質問紙調査は、同封の封筒にて郵送回収させていただきます。
- ・ 調査票の回答に要する時間は 20 分程度です。
- ・ 調査票の回収をもって本調査への同意が得られたこととさせていただきます。

【調査協力者への倫理的配慮について】

本調査の公開は、国内外の保健医療・看護・心理系の学会で行わせていただきます。

調査で得られた結果は、研究目的以外には使用しません。調査票は無記名式で回答していただき、個人が特定されることはありません。なお、調査票は厳重に保管し、研究終了時にシュレッダー処理を行います。

本調査は、神奈川大学における人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認を受けて行っております（承認番号：20133-3 平成25年8月30日）。

【研究資金】

本研究は、文部科学省科学研究費補助金（課題番号：24660030、種目：挑戦的萌芽研究、研究課題：医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究、研究代表者：石舘美弥子）の助成を受けております。

本調査にご協力をいただける場合は、調査票と依頼書が封入された封筒を小児科の看護師、医師に配布いただけますようお願いいたします。

[同封物]

調査票・依頼書・返信用封筒（クリアファイルにセット） 10部

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、本研究に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。


【お問合せ先】

研究代表者：石舘美弥子

所属：横浜創英大学看護学部

住所：〒226-0015 神奈川県横浜市緑区三保町1番地

電話&Fax：045-922-6289（直通）

e-mail： 

調査研究へのご協力をお願い

平成 25 年 10 月

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

今回は「医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究」を進めるにあたり、ご協力のお願いをさせていただきますと幸甚です。

【研究目的】

小児医療の現場では、幼児に対して頻繁に用いることばがあります。それは、オノマトペ（擬音語・擬態語）に代表される感性的言語です。感性的言語とは、聞き手に強く感覚イメージを喚起させるような性質を持つことばであり、注射や採血は「チクン」、吸入療法は「モクモク」などがその例となります。しかし、この感性的言語の使用実態はまだよくわかっておりません。そこで、今回、小児科に勤務する看護師、医師を対象に調査を実施することにしました。

本調査の目的は、幼児への具体的なことばモデル開発の基礎的資料を得ることにあります。

【研究の意義】

幼児が理解できる感性的言語の説明モデルが開発されれば、医療現場において幼児への説明が容易となり、幼児自身が安心して医療を受けることに役立つものと期待されます。

【研究方法】

- ・ 無記名自記式の質問紙調査を行い、郵送にて回収させていただきます。
- ・ 調査票の回答に要する時間は 20 分程度です。
- ・ 調査票の回収をもって本調査への同意を得られたこととさせていただきます。

【倫理的配慮】

本調査の公開は、国内外の保健医療・看護・心理系の学会で行わせていただきます。調査で得られた結果は、研究目的以外には使用しません。回答いただいた調査票は厳重に保管し、研究終了時にシュレッダー処理を行います。

【研究資金】

本研究は、文部科学省科学研究費補助金（課題番号：24660030、種目：挑戦的萌芽研究、研究課題：医療処置を受ける幼児の対処行動を高める感性的言語の研究、研究代表者：石舘美弥子）の助成を受けております。

本調査にご協力いただける場合は、2 週間以内に同封の返信用封筒にてご返送いただければ幸いです。ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、よろしくご協力のほど、お願い申し上げます。

敬具

なお、本研究に関してご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。


【お問合せ先】

研究代表者：石舘 美弥子

所属： 横浜創英大学 看護学部

住所： 〒226 - 0015 神奈川県横浜市緑区三保町 1 番地

電話： 045-922-6289 (直通)

e-mail : 

医療処置を受ける幼児の対処能力を高める 感性的言語に関する質問紙調査

本研究での用語は次のように定義しております。

この定義を念頭においてご記入をお願い致します。

「小児医療オノマトペ」

小児医療現場において、対幼児に使用していることばであり、実際に存在する音に真似てことばとする擬音語や、視覚・触覚など聴覚以外の感覚印象をことばとする擬態語、および、擬音語・擬態語に類似した形を持つ表現の総称とします。

採血を「チククン」、消毒を「ヒンヤリ」、聴診を「モシモシ」、起き上がることを「オッキ」、手洗いを「キレイキレイ」という表現が例として挙げられます。

- 調査用紙は7ページあります。
- 質問紙の記入時間はおよそ20分を予想しています。
- ご記入は、記入漏れや記載間違いがないかをご確認の上、同封の返信用封筒に入れて

2週間以内に ご返送いただきますよう

よろしくお願い致します。

- I. あなたが、初めて採血を受ける、2～5歳の幼児に説明している「ことば」についてお尋ねします。
 下記の全ての「ことば」を読み、該当する番号に○をつけてください。
 また、() に内容を記入してください。

採血の実施手順にそって、順番にお聞きします。



全く使わない	余り使わない	時々使う	よく使う
--------	--------	------	------

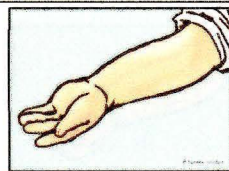
1. 「椅子に座る」 をどのように表現していますか？

1 2 3 4 5 6 7 8	「椅子に座る」を	シャンコする	1	2	3	4
		すわる(座る)	1	2	3	4
		エンコする	1	2	3	4
		トンする	1	2	3	4
		(椅子を指さし) どうぞ	1	2	3	4
		ペタンする	1	2	3	4
		チョコンする	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

2. 「ベッドに寝る」 をどのように表現していますか？

1 2 3 4 5 6 7 8 9	「ベッドに寝る」を	ゴロンする	1	2	3	4
		よこになる(横になる)	1	2	3	4
		ねる(寝る)	1	2	3	4
		ネンコする	1	2	3	4
		ネンネする	1	2	3	4
		うえむく(上向く)	1	2	3	4
		てんじょうみる(天井見る)	1	2	3	4
		やすむ(休む)	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

3. 「手(腕)を伸ばす」 をどのように表現していますか？



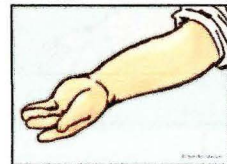
1 2 3 4 5	「手(腕)」を	てって	1	2	3	4
		おてて	1	2	3	4
		て(手)	1	2	3	4
		うで(腕)	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

		全く使わない	余り使わない	時々使う	よく使う	
1	「伸ばす」を	ピーンする	1	2	3	4
2		のぼす (伸ばす)	1	2	3	4
3		まっすぐする	1	2	3	4
4		出す (出す)	1	2	3	4
5		ニュツとする	1	2	3	4
6		(手を) ちょうだい	1	2	3	4
7		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

●「手(腕)を伸ばす」をまとめて表現する「ことばかけ」がありましたら、具体的に書いてください。

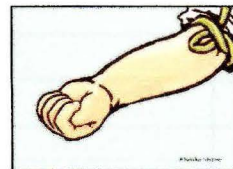
8	
---	--

4. 「手を握る」をどのように表現していますか？



1	「手を握る」を	グーする	1	2	3	4
2		ギュツする	1	2	3	4
3		ギューする	1	2	3	4
4		にぎる (握る)	1	2	3	4
5		ニギニギする	1	2	3	4
6		あくしゅする (握手する)	1	2	3	4
7		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

5. 「駆血帯を巻く」をどのように表現していますか？



1	「駆血帯」を	ゴム	1	2	3	4
2		パッチン	1	2	3	4
3		くけつたい (駆血帯)	1	2	3	4
4		ギュツてなるの	1	2	3	4
5		きついの	1	2	3	4
6		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

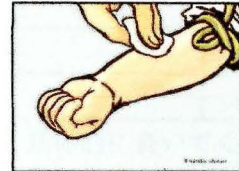
			全く使わない	余り使わない	時々使う	よく使う
1	「 巻く 」を	マキマキする	1	2	3	4
2		まく (巻く)	1	2	3	4
3		ギューする	1	2	3	4
4		ギュッする	1	2	3	4
5		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

- 「**駆血帯を巻く**」をまとめて表現する「ことばかけ」がありましたら、具体的に書いてください。

6	
---	--

6. 「アルコール綿で拭く (消毒する)」

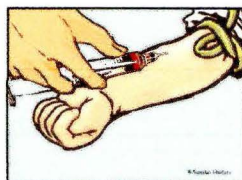
をどのように表現していますか？



			1	2	3	4
1	「 アルコール綿 」を	アルコール綿	1	2	3	4
2		アルコール	1	2	3	4
3		スーッとするの	1	2	3	4
4		キレイキレイ	1	2	3	4
5		冷たいの	1	2	3	4
6		ヒンヤリするの	1	2	3	4
7	その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()					

			1	2	3	4
1	「 拭く 」を	キレイキレイする	1	2	3	4
2		ふく (拭く)	1	2	3	4
3		フキフキする	1	2	3	4
4		しょうどくする (消毒する)	1	2	3	4
5		ヒンヤリする	1	2	3	4
6		(ばいきんなど) ナイナイする	1	2	3	4
7		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

7. 「針を刺す」 をどのように表現していますか？



全く使わない	余り使わない	時々使う	よく使う
--------	--------	------	------

1 2 3 4 5	「針」を	トンボさん	1	2	3	4
		はり (針)	1	2	3	4
		はりさん	1	2	3	4
		チクン	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

1 2 3 4 5 6 7 8	「刺す」を	チクンする	1	2	3	4
		チクンとする	1	2	3	4
		チクリとする	1	2	3	4
		チクツとする	1	2	3	4
		さす (刺す)	1	2	3	4
		チクチクする	1	2	3	4
		イタイイタイする	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

8. 「血液を採る」 をどのように表現していますか？

1 2 3 4 5	「血液」を	ちっち	1	2	3	4
		ち	1	2	3	4
		けつえき (血液)	1	2	3	4
		あか (赤)	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

1 2 3 4 5 6	「採る」を	とる (採る)	1	2	3	4
		グリグリする	1	2	3	4
		キューンする	1	2	3	4
		ギューツする	1	2	3	4
		けんさする	1	2	3	4
		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 ()				

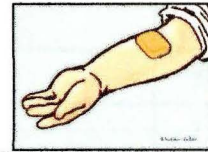
9. 「手を開く」 をどのように表現していますか？

		全く使わない	余り使わない	時々使う	よく使う	
1	「開く」を	パーする	1	2	3	4
2		ひらく (開く)	1	2	3	4
3		らくにする (楽にする)	1	2	3	4
4		あける	1	2	3	4
5		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

10. 「駆血帯を外す」 をどのように表現していますか？

1	「外す」を	とる	1	2	3	4
2		はずす (外す)	1	2	3	4
3		ナイナイする	1	2	3	4
4		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

11. 「絆創膏を貼る」 をどのように表現していますか？



1	「絆創膏」を	カット判	1	2	3	4
2		シール	1	2	3	4
3		テープ	1	2	3	4
4		ばんそうこう (絆創膏)	1	2	3	4
5		ペタペタ	1	2	3	4
6		ペッタン	1	2	3	4
7		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

1	「貼る」を	ペッタンする	1	2	3	4
2		ペッタンコする	1	2	3	4
3		はる (貼る)	1	2	3	4
4		その他、普段使っている「ことば」がありましたら、具体的に書いてください。 〔 〕				

● 「絆創膏を貼る」 をまとめて表現する「ことばかけ」がありましたら、具体的に書いてください。

5	
---	--

II. これまでの質問項目に、幼児に対して使用している「チクン」「キレイキレイ」といった「小児医療オノマトペ」について、お聞きします。

※ さまざまな医療処置場面で（採血に限らず）、あなたが幼児に対応している状況を思い出し、回答してください。

		全然 そう 思わない	余り そう 思わない	やや そう 思う	とても そう 思う
1	意識して使っている	1	2	3	4
2	意識しないで使っている	1	2	3	4
3	自然に話している	1	2	3	4
4	積極的に使っている	1	2	3	4
5	意図的に使っている	1	2	3	4
6	よく使っている	1	2	3	4
7	自分の周囲が使っているから使用している	1	2	3	4
8	自分が子どもの頃、母親が使用していたことばを使っている	1	2	3	4
9	自分が子どもの頃、父親が使用していたことばを使っている	1	2	3	4
10	幼児の母親のことばを真似ている	1	2	3	4
11	幼児の父親のことばを真似ている	1	2	3	4
12	先輩（医師・看護師）から教わって使っている	1	2	3	4
13	本（絵本など）の影響を受けて使用している	1	2	3	4
14	テレビの影響を受けて使用している	1	2	3	4
15	幼児に有用なことばである	1	2	3	4
16	幼児にわかりやすいことばである	1	2	3	4
17	幼児の安心に繋がることばである	1	2	3	4
18	幼児にとって医療処置の苦痛を軽減することばである	1	2	3	4
19	幼児が理解できることばである	1	2	3	4
20	幼児の主体的な対処行動を高めることばである	1	2	3	4
21	幼児の笑顔を増やすことばである	1	2	3	4
22	幼児への説明には必要なことばである	1	2	3	4

III. 幼児に使用する「小児医療オノマトペ」について、あなたが考える「長所」と「短所」を書いてください。

長所：
短所：

IV. あなたご自身についてお尋ねします。以下の表の（ ）に数字、または、具体的内容を記入してください。選択肢のあるものは該当するものに○をつけてください。

	質問内容	回答欄
1	性別	1) 男性 2) 女性
2	年齢（※年代でお答え下さい）	1) 20歳代 2) 30歳代 3) 40歳代 4) 50歳代以上
3	ご自身のお子さんの数	1) 0人 2) 1人 3) 2人 4) 3人以上
4	ご自身のお子さんの年齢 （※3の回答が2）～4）の場合）	（ ）歳・（ ）歳・（ ）歳 （ ）歳・（ ）歳・（ ）歳 （ ）歳・（ ）歳・（ ）歳
5	出身地（都道府県でお答えください）	（ ）都・道・府・県
6	現在、お住まいの地域（都道府県でお答えください）	（ ）都・道・府・県
7	所属施設の所在地（都道府県でお答えください）	（ ）都・道・府・県
8	臨床経験年数（※非常勤経験年数を除く）	（ ）年（ ）ヶ月
9	小児科の臨床経験年数（※非常勤経験年数を除く）	（ ）年（ ）ヶ月
10	その他の臨床経験の有無	1) なし 2) あり
11	その他の臨床経験の勤務科（※ありの場合）	（ ）
12	所属する施設の種類の種類	1) 総合病院 2) 大学病院 3) 小児専門病院 4) クリニック 5) その他（ ）
13	所属する施設での職種	1) 看護師 2) 助産師 3) 保健師 4) 医師 5) その他（ ）
14	所属する施設での職位	1) スタッフ（または準ずる名称） 2) 主任（または準ずる名称） 3) 師長（または準ずる名称） 4) その他（ ）
15	保有する資格 （※該当するもの全てに○をしてください）	1) 看護師 2) 助産師 3) 保健師 4) 保育士 5) 医師 6) HPS（ホスピタル・プレイ・スペシャリスト） 7) CLS（チャイルド・ライフ・スペシャリスト） 8) その他（ ）

ご協力ありがとうございました。

平成 26 年 7 月 2 日

日本赤十字社 武蔵野赤十字病院
小児科部長 大柴 晃洋様

「オノマトペ」研究協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

このたび、「採血を受ける幼児の対処能力を高めるオノマトペの研究」を進めるにあたり、ご協力いただければ大変幸いと存じます。

【研究目的】

「オノマトペ」とは擬音語や擬態語の総称を意味します。これらは日常生活の中でよく使われ、電子レンジで温めることを「チンする」、玄関のベルを押すことを「ピンポン」、拍手を「パチパチ」、ガラスが割れる音を「ガチャン」など枚挙にいとまがありません。

小児医療の現場でも頻繁に使われる「オノマトペ」があります。注射や採血を「チクン」、吸入の際に「モクモクしようね」などが該当します。「オノマトペ」は、言語能力の未熟な幼児にとっては感性的に理解できることばといえます。しかし、その有効性についてはまだよくわかっておりません。私はこれまで医師、看護師を対象に「オノマトペ」の使用実態を調査してきました。

そこで今回、「オノマトペ」が真に幼児にとって有効なことばであるのか、小児医療の現場で実証研究を実施したいと考えております。

【調査対象】

小児外来で、採血を受ける 3 歳から 6 歳の幼児とその保護者、採血実施の際に幼児に説明される医療従事者（医師ないし看護師）を対象としております。

ご協力いただける幼児とその保護者の方を 40 組程度（オノマトペ使用群 20 名、対照群 20 名）、および採血実施の際に幼児に説明される医療従事者 10 名程度を募っております。

【研究期間】 平成 26 年 8 月～平成 27 年 1 月

【研究方法】 オノマトペ使用群と対照群の 2 群間を比較してその有効性の検証を行います。

研究の詳細に関しまして別紙添付させていただきます。ご不明な点がございましたら、下記までお問合せください。

ご多忙のところ誠に恐縮ではございますが、なにとぞご高配くださいますようお願い申し上げます。

敬具

【お問合せ先】 石舘美弥子
横浜創英大学看護学部
〒226 - 0015 神奈川県横浜市緑区三保町 1 番地
Tel&Fax 045-922-6289（直通）
E-mail XXXXXXXXXX

【研究方法】

幼児が採血で感じた痛みの主観的、客観的評価、対処行動を、オノマトペ使用群とオノマトペ未使用群の2群間で比較することにより有効性の検証を行う。

【調査項目】

1. 採血前後における幼児の評価

1) 基本データ

- ① 基本属性として子どもの性別、年齢、診断名を診療録より記録する。
- ② 調査時の採血理由、血液採取量、針の種類、穿刺部位、穿刺体位、穿刺回数、保護者のかかわりについて観察して記録する。

2) 主観的評価

① Face Rating Scale (FRS)

採血に対する子どもの苦痛の程度を主観的に評価するため、Wong & Baker (1988) が作成した主観的評価法を使用する。この尺度は、顔の表情によって痛みの程度をアセスメントするための測定具であり、3歳から18歳までの小児に広く使用されている。0点から5点までの得点がつけられる。得点が高いほど、痛みが強いことを示す。採血後で最も当てはまる顔を子どもに選んでもらう。

3) 客観的評価

① FLACC (Face, Legs, Activity, Cry, Consolability) Behavioral Scale

採血前後の痛みを客観的に評価するため、Merkel, Voepel-Lewis, Shayevitz, & Malviya (1977) が開発した行動スコアを使用します。5つのカテゴリー（表情・足の動き・活動性・泣き方・あやしやすさ）の項目ごとに0から3点の得点がつけられ、得点が高いほど痛みや不安、恐れが強いことを示します。

② 反応潜時

採血に対する子どもの主体的な対処行動を評価するため、Bijou (1996) による反応潜時を使用する。反応潜時とは、特定の刺激が生じてから反応が起きるまでの経過時間を指すものであり、行動の強さを表す。ストップウォッチを用いて、医療従事者の説明後、子どもが自ら手を出すまで、または注射針刺入時までの時間を測定する。

4) 生理学的評価

① 経皮的酸素飽和度モニター

採血に対する子どもの状態を生理学的に評価するため、心拍数、酸素飽和度を測定する。

2. 保護者への質問紙調査

1) 子どもの属性

子どもの過去の入院経験の有無、採血経験の有無、採血経験回数、最終採血時期、採血以外で経験したことがある過去の強い痛みについて

2) 保護者の理解・不安の程度

子どもの痛みを伴う処置に対する保護者の理解の程度や不安の程度を把握する目的で、質問紙調査(佐藤 塩鮎, 2007)を行う。内容は、子どもの採血に対する保護者の理解と不安の程度、子どもの病気に対する保護者の理解と不安の程度を4段階尺度で回答を求める。

3. 採血実施者への質問紙調査

1) 小児医療オノマトペ活用評価尺度

採血場面でオノマトペを用いた説明に対するイメージを測定する目的で、研究者が開発した尺度で回答を求める。

【採血の説明内容】

幼児への説明は次の2種類です。

採血実施者には、研究者より、①オノマトペ使用群、または、②オノマトペ未使用群のいずれかの説明をご依頼します。

① 幼児用のオノマトペことばモデルを用いる場合 (オノマトペ使用群)

これからチクンするね。ここに座ってね (ゴロンしてね)。おてて、ピンできる? / おてて、グーできる? ギュッてマキマキするね。これでキレイキレイするね。チクンするね。おててパーしてね。ペタンするね。終わったよ。ありがとう。

② 幼児用のオノマトペことばモデルを用いない場合 (オノマトペ未使用群)

これから血を採るね。ここに座ってね (寝てね)。手を伸ばしてくれる? / 手を握ってくれる? ひも (駆血帯) で巻くね。これで拭くね。針を刺すね。手を開いてね。絆創膏を貼るね。終わったよ。ありがとう。

【研究協力者への倫理的配慮について】

本研究の公開は、国内外の保健医療・看護・心理系の学会で行わせていただきます。

得られた結果は、研究目的以外には使用しません。調査票は無記名式で回答していただき、個人が特定されることはありません。なお、調査票は厳重に保管し、研究終了時にシュレッダー処理を行います。

本研究は、神奈川大学における人を対象とする研究に関する倫理審査委員会の承認を受けて行っております (承認番号: 2013-3 平成 25 年 8 月 30 日)。

【研究資金】

本研究は、文部科学省科学研究費補助金 (課題番号: 24660030、種目: 挑戦的萌芽研究、研究課題: 医療処置を受ける幼児の対処能力を高める感性的言語の研究、研究代表者: 石舘美弥子) の助成を受けております。

「オノマトペ」研究協力をお願い

このたび、「採血を受ける幼児の対処能力を高めるオノマトペの研究」を進めるにあたり、ご協力いただければ大変幸いと存じます。

【研究目的】

「オノマトペ」とは擬音語や擬態語の総称を意味します。これらは日常生活の中でよく使われ、電子レンジで温めることを「チンする」、玄関のベルを押すことを「ピンポン」、拍手を「パチパチ」、ガラスが割れる音を「ガチャン」など枚挙にいとまがありません。

小児医療の現場でも頻繁に使われる「オノマトペ」があります。注射や採血を「チックン」、吸入の際に「モクモクしようね」などが該当します。「オノマトペ」は、言語能力が未熟な幼児にとっては感性的に理解できることばといえます。しかし、その有効性についてはまだよくわかっておりません。私はこれまで医師、看護師を対象に「オノマトペ」の使用実態を調査してきました。

そこで今回、「オノマトペ」が真に幼児にとって有効なことばであるのか、小児医療の現場で実証研究を実施したいと考えております。

【調査対象】

小児外来で、採血を受ける3歳から6歳の幼児とその保護者、採血実施の際に幼児に説明される医師ないし看護師の方々を対象としております。

ご協力いただける幼児とその保護者の方を40組程度（オノマトペ使用群20名、オノマトペ未使用群20名）、および採血実施の際に幼児に説明される医療従事者10名程度を募っております。

【研究期間】 平成26年8月～12月

【研究方法】 オノマトペ使用群とオノマトペ未使用群の2群間を比較してその有効性の検証を行います。

【倫理的配慮】

- ・ この研究に参加することに同意しない場合でも何ら不利益を被ることはありません。また、一旦同意した後でも、いつでも参加を取り消すことができます。
- ・ 結果を学会や学術雑誌などに発表することがありますが、その時には個人を特定できないようにし、個人情報保護いたします。
- ・ 情報は厳重に管理し、研究の目的以外には一切使用いたしません。また、研究の終了をもちまして、データなどの資料は破棄いたします。
- ・ 本研究は、研究代表者の所属機関の承認を受けて行っております。

◆ 医療従事者の皆様にご協力いただきたいことは以下になります。

▼ 研究者が採血前後において評価する項目は次の内容です▼

※これらの評価に関しましては、私または共同研究者が立ち会い評価させていただく所存です。

4. 採血前後における幼児の評価

5) 基本データ収集

子どもの性別、年齢、診断名、採血理由、血液採取量、注射針の種類、穿刺部位、穿刺体位、穿刺回数、保護者のかかわりについて記録します。なお、幼児の氏名は記載しません。

6) 主観的評価

① Face Rating Scale (FRS)

採血に対する子どもの苦痛の程度を主観的に評価するため、Wong & Baker (1988) が作成した主観的評価法を使用します。0点から5点までの得点がつけられ、得点が高いほど、痛みが強いことを示します。採血後で最も当てはまる顔を子どもに選んでもらいます。

裏面があります

7) 客観的評価

① FLACC (Face, Legs, Activity, Cry, Consolability) Behavioral Scale

採血前後の痛みを客観的に評価するため、Merkel, Voepel-Lewis, Shayevitz, & Malviya (1977)が開発した行動スコアを使用します。5つのカテゴリー（表情・足の動き・活動性・泣き方・あやしやすさ）の項目ごとに0から3点の得点がつけられ、得点が高いほど痛みや不安、恐れが強いことを示します。

② 反応潜時

採血に対する子どもの主体的な対処行動を評価するため、Bijou (1996)による反応潜時を使用します。反応潜時とは特定の刺激が生じてから反応が起きるまでの経過時間を指し、行動の強さを表します。ストップウォッチを用いて、医療従事者の説明後、子どもが自ら手を出すまで、または注射針刺入時までの時間を測定します。

8) 生理学的評価

① 経皮的酸素飽和度モニターにて、心拍数、酸素飽和度を測定します。

5. 保護者への質問紙調査

子どもの過去の採血経験の有無、採血経験回数、最終採血時期、採血以外で経験したことがある過去の強い痛み、保護者の理解・不安の程度などについて尋ねます。

▼採血前の幼児への説明をお願いいたします▼

幼児への説明内容は次の2種類です。採血実施者の方には、予め、いずれか1つをご依頼します。

③ オノマトペ使用群

これからチックンするね。ここに座ってね（ゴロンしてね）。おてて、ピンできる？／おてて、グーできる？ギュッてマキマキするね。これでキレイキレイするね。チックンするね。おててパーしてね。ペッタンするね。終わったよ。ありがとう。

④ オノマトペ未使用群

これから血を採るね。ここに座ってね（寝てね）。手を伸ばしてくれる？／手を握ってくれる？ひも（駆血帯）で巻くね。これで拭くね。針を刺すね。手を開いてね。絆創膏を貼るね。終わったよ。ありがとう。

※この説明に関しましても、私または共同研究者が傍らで補足説明させていただく所存です。

▼質問紙調査への回答をお願いいたします▼


小児医療オノマトペ活用評価尺度という質問紙です。これは採血場面でオノマトペを用いた説明に対するイメージを測定する目的で、研究者が開発した尺度です。

この文書と口頭での説明を受け、ご協力いただける場合は添付の同意書にご署名をお願いいたします。ご不明な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

【お問合せ先】 石館 美弥子（横浜創英大学看護学部講師）

〒226 - 0015 神奈川県横浜市緑区三保町1番地

Tel&Fax 045-922-6289（直通）

E-mail 

保護者の方へ

「オノマトペ」調査協力をお願い

「オノマトペ」とはギリシャ語やフランス語から来た言葉で、擬音語や擬態語の総称を意味します。たとえば、日常生活では、電子レンジを「チンする」、拍手を「パチパチ」、ガラスが割れると「ガチャン」、雷を「ゴロゴロ」などいっぱいあります。

病院でも受診されると「モシモシしようね」、注射や採血を「チクンするよ」、吸入の際に「モクモクしようね」などよく使われています。「オノマトペ」は、言語発達が十分でない幼児にとっては理解しやすいことばといえます。

そこで今回、「オノマトペ」が真に幼児にとって有効なことばであるのか、調査したいと存じます。

【調査の方法】

採血を受ける3～6歳のお子様とその保護者の方を対象に、「オノマトペ」を用いた説明を受けた場合と受けなかった場合に分けて、その効果を比較します。

つきまして、ご協力していただきたい内容は以下のとおりです。

【保護者の方へ】

※ 簡単な質問紙にご記入していただきます。

【お子様へ】

※ 指先に付ける簡単な道具で、お子様の心拍数を測定します。

※ 採血により感じた痛みの程度を、笑顔から泣き顔までの6つの顔のイラストから、お子様に1つ選んでいただきます。

【具体的実施方法】

※ 採血前後の痛みの評価として、二つのグループに分けてお子様の様子（表情、手足の動き、泣き方など）を私どもが観察いたします。

▼採血に際して二つのグループ▼

① 幼児用のオノマトペことばを用いた説明を行うグループ

これからチクンするね。ここに座ってね（ゴロンしてね）。おててピーンできる？ / おててグーできる？ギョッてマキマキするね。これでキレイキレイするね。チクンするね。おててパーしてね。ペッタンするね。終わったよ。ありがとう。

② 幼児用のオノマトペことばを用いないグループ

これから血を採るね。ここに座ってね（寝てね）。手を伸ばしてくれる？ / 手を握ってくれる？ ひもで巻くね。これで拭くね。針を刺すね。手を開いてね。絆創膏を貼るね。終わったよ。ありがとう。

裏面があります

【倫理的配慮】

- ・ この調査でお子様を拘束したり、薬物等を使用したりすることは一切ありません。担当者は安全性の配慮を十分いたします。
- ・ 調査への途中であっても内容や方法などについてご不審な点がある場合は、遠慮なく担当者にお声かけください。また、説明の途中や開始後であっても調査への不参加をお申し出いただけます。
- ・ 個人のプライバシーに関することは保護されます。個人を識別する情報は一切使用しません。
- ・ 情報について厳重に管理し、調査の目的以外には使用いたしません。また、調査の終了をもちまして、データなどの資料は破棄いたします。
- ・ この研究は、調査代表者の所属機関の承認を受けて行っております。

説明者氏名 _____

この説明を聞かれた後、ご協力いただける場合は同意書にお手数ではございますがご署名をお願いいたします。

調査責任者： 石舘 美弥子（横浜創英大学看護学部講師）
〒226 - 0015 神奈川県横浜市緑区三保町1番地
Tel&Fax 045-922-6289（研究室直通：平日 9:00~17:00）
045-575-0103（夜間・休日）

研究への参加についての同意書

私は、研究計画名「採血を受ける幼児の対処行動を高めるオノマトペの研究」に関する研究において、その目的と方法について十分な説明を受けました。

- ① 研究の目的
- ② 研究の方法
- ③ 研究への参加予定期間
- ④ 予想される臨床上の利益や危険性または不便
- ⑤ 研究への参加は協力者の自由意思によるものであり、研究への参加を随時拒否・撤回できること、また、これによって協力者が不利な扱いを受けないこと
- ⑥ データの管理には細心の注意を払うこと
- ⑦ 結果の公表の仕方について、また、結果が公表される場合であっても、協力者のプライバシーは保全されること
- ⑧ 研究責任者の氏名・職名・連絡先

上記内容を十分に理解し、承知した上で、自ら本研究に参加することに同意いたします。

説明日： 年 月 日

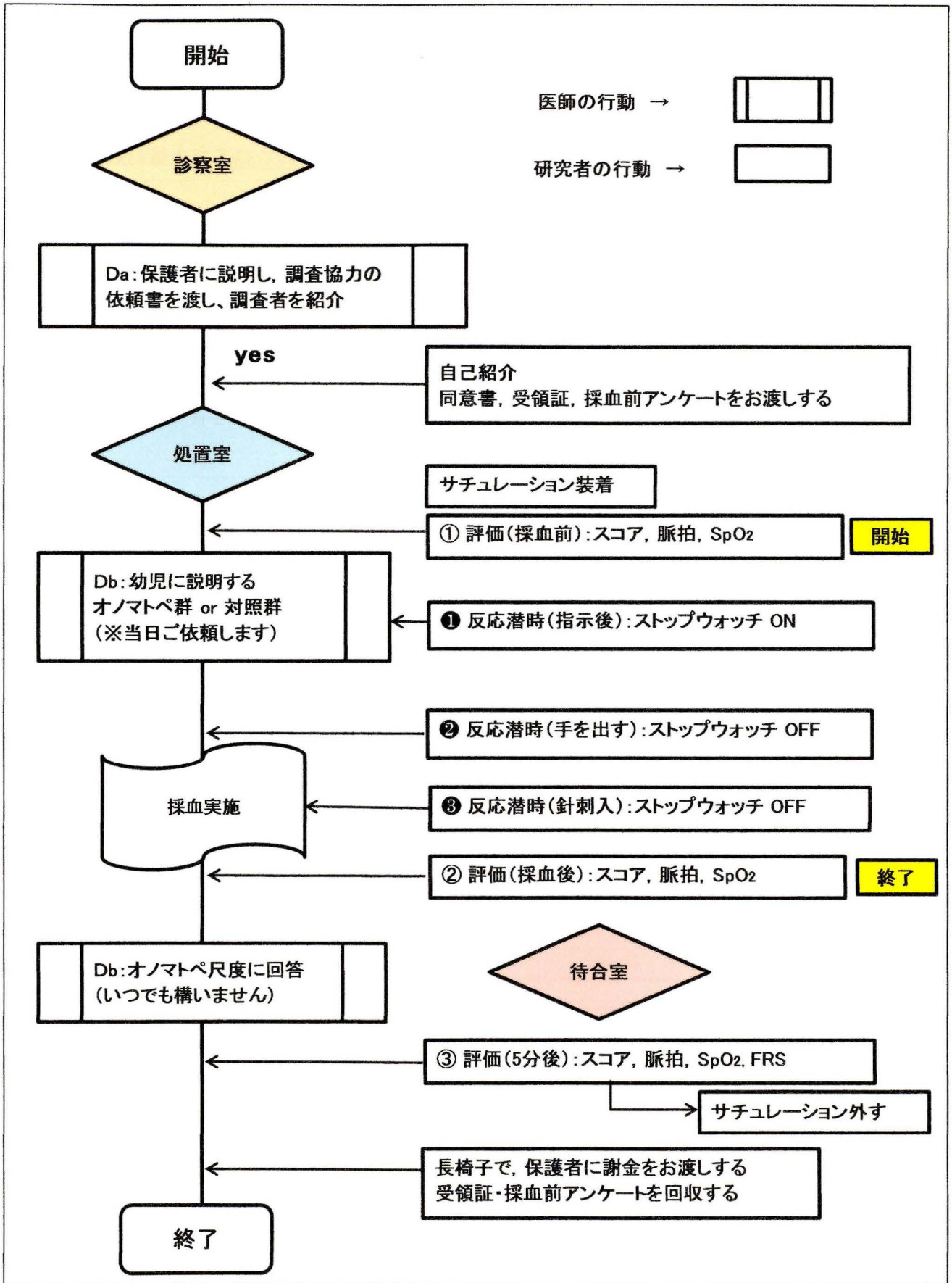
説明者： _____

説明者所属： _____

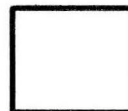
同意年月日： 年 月 日

研究協力者： _____

本同意書は、研究協力者と研究責任者が一部ずつ保管する。



採血前アンケート



◆ お子様は採血される件に関してお尋ねします。
選択肢について当てはまるものに○を、記述が必要なものは () にご記入ください。

- 1) お子様は過去に入院された経験はありますか? ①なし ②1回 ③2回 ④3回以上
- 2) お子様は過去に採血された経験はありますか? ①なし ②1回 ③2回 ④3回以上
- 3) お子様は最後に採血された時期は 平成 () 年 () 月 () 日
- 4) お子様は過去に採血以外で強い痛みの経験はありますか? ① なし ② あり

① ありと回答された方は、痛みの経験について具体的にご記入ください。

()

◆ お子様の採血に対して、保護者の方にお尋ねします。

- 1) あなたは、お子様の ① 母親 ② 父親 ③ 祖母 ④ 祖父 ⑤ その他 ()

- 2) あなたは、お子様が検査のために採血が必要という説明を聞いて

十分理解している	大体理解している	あまり理解していない	ほとんど理解していない
1	2	3	4

- 3) あなたは、お子様の採血に対して

とても不安	少し不安	あまり不安はない	ほとんど不安はない
1	2	3	4

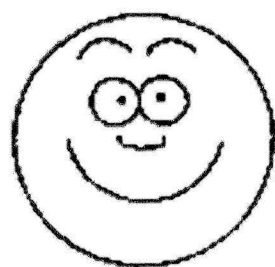
- 4) あなたは、お子様の病気に対して

十分理解している	大体理解している	あまり理解していない	ほとんど理解していない
1	2	3	4

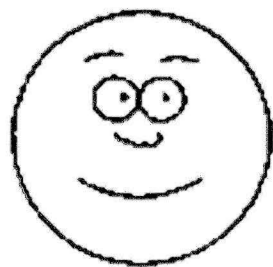
- 5) あなたは、お子様の病気に対して

とても不安	少し不安	あまり不安はない	ほとんど不安はない
1	2	3	4

ご協力ありがとうございました。



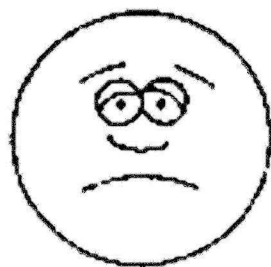
0



1



2



3



4



5



小児医療オノマトペ活用評価尺度

幼児に対して使用している「Chicken」「キレイキレイ」といった「小児医療オノマトペ」についてお聞きします。さまざまな医療処置場面で、あなたが幼児に対応している状況を思い出し、当てはまるところに○をつけてください。

	全然 そう 思わない	あまり そう 思わない	やや そう 思う	とても そう 思う
1. 幼児にわかりやすいことばである	1	2	3	4
2. 幼児の父親のことばを真似ている	1	2	3	4
3. 幼児に有用なことばである	1	2	3	4
4. 幼児への説明には必要なことばである	1	2	3	4
5. 幼児の母親のことばを真似ている	1	2	3	4
6. 幼児の安心に繋がることばである	1	2	3	4
7. 自分が子どもの頃、父親が使用していたことばを使っている	1	2	3	4
8. 幼児が理解できることばである	1	2	3	4
9. よく使っている	1	2	3	4
10. 自分が子どもの頃、母親が使用していたことばを使っている	1	2	3	4
11. 幼児の主体的な対処行動を高めることばである	1	2	3	4
12. テレビの影響を受けて使用している	1	2	3	4
13. 幼児にとって医療処置の苦痛を軽減することばである	1	2	3	4
14. 本（絵本など）の影響を受けて使用している	1	2	3	4
15. 幼児の笑顔を増やすことばである	1	2	3	4
16. 積極的に使っている	1	2	3	4

項目 1, 3, 4, 6, 8, 9, 11, 13, 15, 16 は「オノマトペに対する肯定的イメージ」

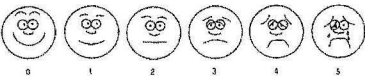
項目 2, 5, 7, 10, 12, 14 は「オノマトペの獲得意識」

採点方法は、各尺度で項目の素点を単純加算して下位得点とする。

調査フォーム

No		調査年月日	年 月 日 ()	
性別	1男 2女	年齢	歳 か月	
診察名		採血理由		
血液採取量	ml	穿刺部位	1.肘静脈 2.手背静脈 3.足背静脈 4.その他 ()	
注射針の種類	1直針 2翼状針 3留置針 G	穿刺体位	1仰臥位 2座位 3その他 ()	
穿刺回数	回	穿刺者	1医師 2看護師 3その他 ()	
保護者のかわり	1処置に入る 2かわらで見る 3介入なし 4その他 ()			

開始時間	:	終了時間	:
------	---	------	---

項目	判定	スコア	採血前 説明前	採血後 採血直後	採血後 5分
FRS 顔		0~5	/	/	
生理指標 脈拍数 (回分)					
酸素飽和度 (%)					
行動強度	反心潜時: 指示してから時間 (秒) 説明後 手を出けまで あるいは採血挿入までの時間	手を出す			
		針刺入			
気づいたこと:					

行動	判定	スコア	採血前 説明前	採血後 採血直後	採血後 5分
F L A C C	表情	0 1 2			
	足の動き	0 1 2			
	活動性	0 1 2			
	泣き方	0 1 2			
	あやしやすさ	0 1 2			
		合計			
情緒 スコア	・ 恐れや不安がない。すなわち落ち着いている・泣かない・言語的拒絶がない ・ すり泣く。最初だけ、あるいは軽度の言語的拒絶がある。慰めされれば効果がある ・ 極度に興奮している。号泣、あるいは強い言語的拒絶がある。慰められても効果がない	1 3 5			
協力動 スコア	・ 処置やケアに積極的に参加する。協力的態度をとる。 ・ 処置やケアに際し、最初だけ、あるいは軽度の抵抗をする ・ 極度の抵抗をする。逃げ出そうとしたり、行動で処置を拒否する	1 3 5			
気づいたこと:			観察者サイン		

オノマトペ使用群

オノマトペを中心とした説明をお願いします。

これから、**チクン**するね。

ここに座ってね (**ゴロン**してね)。

おてて、**ピン**できる？

おてて、**グー**できる？ (**グーパー**できる？)

ギュって、**マキマキ**するね。

これで、**キレイキレイ**(**フキフキ**)するね。

チクンするね。

おてて、**パー**してね。

ペッタンするね。

終わったよ。おしまい。

ありがとう。頑張ったね。

対 照 群

オノマトペを使わない説明をお願いします。

これから、**血を採る**ね。

ここに座ってね (**寝て**ね)。

手を伸ばしてくれる？

手を握ってくれる？

ひも(駆血帯)で、**巻く**ね。

これで、**拭く**ね。

針を刺すね。

手を開いてね。

絆創膏を貼るね。

終わったよ。おしまい。

ありがとう。頑張ったね